

じゅ けん ばん ごう 受 検 番 号						

(記入してください。)

れい わ ねん ど
令和 6 年度
きゅうけんせつ き かい せ こうかんり だいに じ けんてい
2 級 建設機械施工管理第二次検定
ひつ す もんだい せ こうかんり ほう
(必須問題) 施工管理法
たくいつしき し けんもんだい
択一式試験問題

つぎ ちゅうい よ ほじ
次の注意をよく読んでから始めてください。

ちゅう い
〔注 意〕

- これは試験問題です。4 頁まであります。
- No. 1～No. 10 まで 10 問題があります。
必須問題ですから 10 問題すべてに解答してください。
- 試験問題の漢字のふりがなについては、複数の読み方がある場合があります。ふりがなは、問題の内容に影響がないものとします。
- 解答は、別の解答用紙に記入してください。
解答用紙には、必ず受検地、氏名、受検番号を記入し受検番号の数字をマーク(ぬりつぶす)してください。
- 解答の記入方法はマークシート方式です。

き にゅうれい
記入例

問題 番号	解 答 番 号
No. 1	① ● ③ ④
No. 2	① ② ③ ●
No. 3	● ② ③ ④

① ② ③ ④のうちから、正解と思う番号
を HB または B の黒鉛筆(シャープペンシルの場合
あいは、なるべくしんの太いもの)でマーク(ぬりつ
ぶす)してください。
ただし、1 問題に 2 つ以上のマーク(ぬりつぶ
し)がある場合は、正解となりません。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してマーク(ぬりつぶす)し直してください。

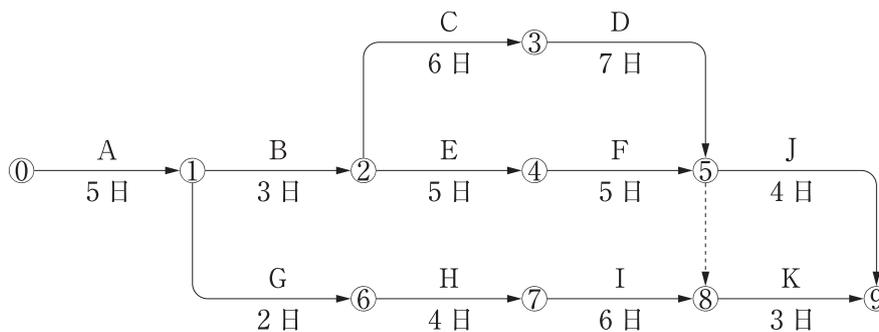
[No. 1] 工事の施工計画と積算に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 発注者が公表する標準歩掛で積算し受注した工事は、標準歩掛の工法により施工しなければならない。
- (2) 施工計画は、適切な品質の工事目的物を効率よく安全に、かつ最小の価格で環境保全を図りながら工期内に完成させる目的をもつ。
- (3) 積上げ積算方式は、材料単価等と歩掛から施工数量1単位当たりの工事単価を求め、これに施工数量を乗じて積算する。
- (4) 施工計画は、工事の手段と方法について、他の工事事例を参考に、自らの技術と経験を生かして検討する。

[No. 2] 労務計画および機械使用計画に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 職種別の労務計画の作成では、ほかの職種の工程と相互に調整を図り、従事期間や日々の労働時間を設定する。
- (2) 労務計画では、施工期間中の作業ピークに対応できる人数を、全期間を通して常に確保しておく。
- (3) 機械使用計画では、機械の種類・性能や調達方法のほか、点検整備等の体制も確認しておく。
- (4) 機械使用計画では、施工期間中に必要となる機械の台数をできる限り平準化する。

[No. 3] 下図のネットワーク式工程表に示された工事のクリティカルパスとして次のうち、適切なものはどれか。ただし、図中のイベント間のA～Kは作業内容、日数は作業日数を表す。



- (1) ①→②→⑥→⑦→⑧→⑨
- (2) ①→②→④→⑤→⑨
- (3) ①→②→④→⑤→⑧→⑨
- (4) ①→②→③→⑤→⑨

[No. 4] 工程管理に使用する工程図表とその特徴をまとめた下表における空欄(A)～(D)に当てはまる語句の組合せとして次のうち、適切なものはどれか。

工程図表名	事項			
	作業手順	作業に必要な日数	作業の進行度合い	工期に影響する作業
工程管理曲線 (バナナ曲線)	(A)	不明	明瞭	不明
バーチャート	曖昧	(B)	曖昧	不明
ガントチャート	不明	不明	(C)	(D)

- | | | | |
|--------|-----|-----|-----|
| (A) | (B) | (C) | (D) |
| (1) 不明 | 明瞭 | 不明 | 明瞭 |
| (2) 明瞭 | 不明 | 明瞭 | 不明 |
| (3) 明瞭 | 不明 | 不明 | 明瞭 |
| (4) 不明 | 明瞭 | 明瞭 | 不明 |

[No. 5] トラック、ダンプトラックおよびトレーラ等の運搬工での安全確保に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- 長尺の荷物を運搬する場合は、その荷物の先端に赤色の旗または標灯をつける。
- 大規模な工事現場では、できる限り一方通行とした専用道路を設け、必要に応じて適当な退避所を設ける。
- 夜間作業を行う場合の運搬路には、1 m 程度の高さで夜間に 150 m 前方から視認できる保安灯を設置する。
- トレーラに自走式機械を積み込むときの積み込み足場は、機械の登坂角度ができるだけ大きくなるように設置する。

[No. 6] 道路上の工事における建設工事公衆災害防止対策として、施工者が行うべき措置に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 道路に面した作業場の出入口の扉は、原則として引戸式とする。
- (2) 工事車両の出入口には誘導員を配置し、工事車両の出入りを優先して、一般交通の誘導を行う。
- (3) 車道を1車線に規制し往復の交互交通で一般車両を通行させる場合は、規制区間をできるだけ短くする。
- (4) 歩行者通路と接する車道部分の境に移動柵を設置する場合は、その間隔をあけずに設置するか、移動柵の間に安全ロープ等を張るようにする。

[No. 7] 品質管理で用いられる用語に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 平均値は、測定したデータ値の合計をデータ数で除したものである。
- (2) 標準偏差は、測定したデータ値の2乗を合計した値の正の平方根である。
- (3) 工程能力図は、データを時系列に打点し、規格値と対比したり時間的変動を確認するための図である。
- (4) 管理図は、データを時系列に打点し、工程(品質が作り出される過程)の安定性を評価するための図である。

[No. 8] 品質管理において利用されるヒストグラムの説明として次の記述のうち、適切でないものはどれか。

- (1) グラフの形状が柱状であることから、柱状図(度数分布図)ともいわれる。
- (2) 横軸に経過時間(日数等)、縦軸にデータの個数をとった図である。
- (3) 工程(品質が作り出される過程)が安定していれば、正規分布に近くなることが多い。
- (4) 品質特性の測定データの分布状態がひと目でわかる。

[No. 9] 建設工事現場における環境保全対策に関する記述として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 粉塵対策として、工事現場の出入口にタイヤ洗浄装置を設ける。
- (2) 建設機械の排出ガスの抑制のため、電動式の特種自動車を導入する。
- (3) 薬液注入を行うときは、工事着手前に1回、工事中は毎月1回ずつ地下水を採取して水質を確認する。
- (4) 建設機械の排出ガスの抑制のため、作業効率の良い手順で作業し、負荷のかけ過ぎに注意する。

[No. 10] 一般に産業廃棄物の安定5品目と呼ばれ、安定型産業廃棄物最終処分場で処分できる産業廃棄物として次のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 金属くず
- (2) がれき類
- (3) 木くず
- (4) 廃プラスチック類